

国際女性学会2002年大会のお知らせ

1. 日時

2002年9月14日(土) - 9月15日

2. 会場

[東京ウイメンズプラザ](#) 視聴覚室

(1階。正門玄関は2階にあります。場所・交通機関は[こちら](#))

国際女性学会2002年大会プログラム

9月14日(土)

12:30	受付開始
13:00-13:10	開会
13:10-14:10	第6回 女性学研究国際奨励賞受賞者による特別講演 1) 村尾裕美子さん 13:10-14:10 (質疑応答10分) 受賞論文名「労働市場における地位達成とジェンダー—男性雇用者の役職獲得に関するイベント・ヒストリー分析—」お茶の水女子大学人間文化研究科(編)人間文化論叢, 第3巻(2000年), pp.77-86
14:20-15:20	第6回 女性学研究国際奨励賞受賞者による特別講演 2) 佐藤 文香さん 14:20-15:20 (質疑応答10分) 受賞論文名「日米の女性兵士をめぐるジェンダー・イデオロギーの変遷—防衛/軍事組織の人事政策を中心に—」日本女性学会(編)、女性学 Vol.7. (1999年)、pp.132-152.
15:40-17:00	ジェンダー・男女共同参画をめぐる動向 司会: 中山まき子(鳴門教育大学) 話題提供者: 萩原なつ子(宮城県環境生活部) 村松泰子(東京学芸大学)
18:00-20:00	懇親会(子どもの城)

9月15日(日)

9:00	受付開始
9:30-12:00	<p>個人発表</p> <p>A会場 座長：大山七穂（東海大学）</p> <p>1. 高倉節子（長崎純心大学） 9:30~10:00 『女性の自立意識－2回の調査を踏まえて－』</p> <p>2. 三善勝代（和洋女子大学） 10:00~10:30 『夫の海外派遣に同行した妻のキャリア形成－帰国者への調査を基礎として－』</p> <p>3. 笹川あゆみ（Oxford Brookes University, PhD 学生） 10:30~11:00 『郊外の高学歴母とコミュニティ活動』</p> <p>4. 柘植あづみ（明治学院大学） 11:00~11:30 『日本の生殖技術に関する法律の制定過程における議論－「家族」・「親子」・「婚姻」・「血縁」について－』</p> <p>B会場 座長：加藤千恵（東京女学館大学）</p> <p>1. 木村育恵（東京学芸大学大学院） 9:30~10:00 『小学校におけるジェンダー形成－児童に対する意識調査をもとに－』</p> <p>2. 池木 清（日本橋学館大学） 10:00~10:30 『公立学校の教員人事は男女平等か－都道府県別の継続的分析を踏まえて－』</p> <p>3. 田中妙子（東京純心女子大学） 10:30~11:00 『エミリー・ディキンソンと女子教育』</p> <p>4. 天童睦子（早稲田大学ジェンダー研究所） 11:00~11:30 『子どもをめぐる暴力の構図』</p> <p>5. 宮崎聖子（お茶の水女子大学大学院） 11:30~12:00 『植民地期台湾における処女会の成立－台北州 A 街の事例から－』</p>
12:00-13:00	総会
13:00-16:00	<p>研究報告 「男性の暴力性の構築」</p> <p>【ジェンダーと暴力研究分科会】</p> <p>上松由紀子（関東学院女子短期大学） 国広陽子（武蔵大学） 江川直子（共立女子大学） 加藤千恵（東京女学館大学）</p>

木脇奈智子（羽衣学園大学） 辻智子（早稲田大学）
天童睦子（早稲田大学） 室井尚恵（西武文理大学）
宮崎聖子（お茶の水女子大学大学院）

シンポジウム 「理科教育・学習におけるジェンダーバイアスを考える」

15:00 - 16:30

【女性と教育研究分科会】

司会： 高橋道子（東京学芸大学）

報告1：中学生における理科とジェンダーの諸相 河野銀子（山形大学）

報告2：欧米における取り組みについて 村松泰子（東京学芸大学）

コメンテーター： 高橋真理子（朝日新聞論説委員）

柘植あづみ（明治学院大学）

※ダイジェスト版を[ダウンロード](#)できます（閲覧には Acrobat Reader が必要です。Acrobat Reader のダウンロードはこちら）。

2002年度大会実行委員会

鳴門教育大学 中山まき子